



**2024年度 年主題〈さあ、漕ぎだそう 奏でよう〉**

**0・1・2歳児11月主題 「みつける」「どれにしようかな」**  
月のねがい  
◎お祈りや賛美歌を通して心地よさを感じる(0)◎興味、探究心が深まり、活動的になる(0)◎たくさんの自然物に触れ、喜ぶ(0)◎秋の美りや移り変わりを見つけて喜ぶ(0)◎神さまを身近に感じて喜んで賛美やお祈りする(1.2)◎自分で考えたことや思ったことを言葉にして表す(1.2)◎自然の恵みを感じ、また触れて遊びや生活の中に取り入れる(1.2)

**3・4・5歳児11月主題 「感謝しつつ」**  
月のねがい  
◎秋の美りや身の回りの生活に神さまの守りがあることを知り、ありがとうの気持ちが芽生える(3)◎友だちや保育者と一緒に何かにきって遊ぶ楽しさを知る(3)◎果物の味、たき火の煙、落ち葉の色合いなど五感を通して秋を感じる機会を持つ(3)◎五感を通して秋の美りや季節の移り変わりを感じ、神様への感謝の思いを分かち合う(4.5)◎思いを伝え合い遊ぶ中で、上手くいかに困る経験や、気持ちが通じ合う喜びを感じる(4.5)◎秋から冬の移り変わりを感じる。自然物を生活や製作に取り入れる(4.5)



**小さな灯火を繋いだ運動会!**

10月19日に行われた運動会では、たくさんの皆さんにお越しいただき、子どもたちを盛り上げて下さってまことにありがとうございました。午後からはあいにく雨になってしまい、ご不便をおかけしましたが、なんとか無事に終えることが出来ました。たくさんのご協力に心から感謝いたします。

さて、今年はオリンピックイヤーということもあり、3年ぶりに年中長児で聖火リレーを行いました。小さな灯のついたランプは、「運動会でみんなが転んでケガをしないように…」最後まで頑張るように…」「元気に走れるように…」という願いを祈りに込めてスタートしました。灯火が消えないように、一日ずつ交代で自宅に持ち帰り、次の日に園に持って来るというリレーを行いました。持って帰る日が決まると、そのときに現れる一瞬の表情が何とも言えずかわいかったです。家に持ち帰ってから火が消えない場所に置いて灯の番をしたり、朝の4時に「火が消えていないか見てみる!!」と突然起きたり、家族で運動会の成功をお祈りしたりと、たくさんの素敵なエピソードを聞いて嬉しく思うことでした。保護者の皆さんと子どもたちみんなで作上げた運動会だったと思うことでした。

当日の子どもたちの頑張りは、ご覧になったとおりですが、普段秘めていた力を発揮できた子どもたちや、逆に悔しい思いをした子どもたちと、それぞれに深い思いがあったようです。運動会が終わってからの一週間は雨続きで、大好きな園庭では思いっきり遊べていませんが、運動会の曲を流すと、みんな集まってきて自分の好きな役になって踊って楽しんでいます。

体を動かすことが気持ちの良い季節になりました。今年のテーマにあったように、たくさん食べて、おもいっきり遊んで、今月も元気に過ごしたいと思います。そして、活発な動の部分からお絵描き遊びやクリスマス会準備の静の世界へ向かいます。また違った子どもたちの姿を楽しみにして下さいね。

森山



**今月の聖句 「成長させてくださったのは神です」** 1 コリント書 3:6

「寝る子は育つ」という言葉があります。医学的にもその真実性は立証されているので、子どもの身体的成長のためには睡眠中に分泌される成長ホルモンが欠かせないようです。けれども、子どもは寝かせておけば勝手に育つというわけでもありません。両親、兄弟姉妹、友だちなど、様々な人との繋がりの中で育ちます。

昨今、日本の子供達をめぐるとは増える一方です。幼い子供が両親から虐待され死に至る。若い女子大学生が、ネットで知り合った未だ知らずの男性を訪ね、無残に殺害されてしまう。中学生の集団暴行事件やいじめによる自殺など、社会の間は深いのです。家庭環境の問題、学校現場の劣化、ネット社会の蔓延、児童相談所や教育委員会といった教育や福祉現場の疲弊など、課題が山積みされている一方で、そこには、「育てる」という根本的な問題が横たわっているように思います。子どもは、所有物や対象物ではありません。生きて人間そのものです。育てる者は決して傲慢になってはなりません。子どもは、あなたのものでなければ、観察すべき対象物でもないのです。生きて命そのものなのです。「育てる」とは、確かに誰かが植え、誰かが水をやるものです。けれども水はやりすぎれば、根は枯れるし、植え方が浅いと茎は倒れ、深すぎれば芽は出ません。なんとも育てるということは難しいものです。しかし、どれ一つ失敗はありません。何度も何度もやり直しながら、私たちは、本当に育ててくださるのは神であることに気づいていきます。その繰り返しが「育てる」ということなのだと思います。

協力牧師 池田基宣

**11月の行事予定**

5日(火)	学校へ行こう(年長児)
8日(金)	秋の一日遠足・弁当日
15日(金)	給食試食会(こすもす)
16日(土)	役員会(9:30~)
"	入園説明会(11:00~)
27日(水)	クリスマス会予行・弁当日

**12月の行事予定**

4日(水)	Xmas バイキング
7日(土)	クリスマス会(9:00~)
10日(火)	絵本の会クリスマス公演
12日(木)	もちつき大会
19日(木)	12月誕生会・試食会(すみれ)
20日(金)	終園式(1号午前保育)
28日(土)	御用納め・弁当日

12/29~1/3 年末年始休園



秋の一日遠足



給食バイキング

**令和7年度入園説明会**  
11月16日(土) 11時より  
1号入園願書受付開始  
12月2日(月)

ご紹介を宜しくお願いします!



学校へ行こう!



給食試食会



クリスマス会

今年度は運動会が遅かったせいも、十一月と聞いてもピンとこない感じがします。雨の多かった十月が終わり、いよいよ秋晴れを楽しもうと楽しみにしていました。ところが、ここにきて台風が亡くなれませんでしたね。折しも、運動会で「おはげのてんぷら」を表現したばかりの計報でした。ちぎり絵を使った温かいタッパの独特の世界観。「ねないこだれだ」や「あーんあん」を幾度も読み聞かせた方も多いことなのでしょう。これからは多くの家庭で長く長く読み聞かされることなのでしょう。

このところ間バイト関連の凶悪事件で胸が重くなっていた時に、たまたま尾島春夫さんの記事を目にして、少し心が持ち直しました。そう、スーパーボランティアと呼ばれた赤いTシャツの方ですね。様々な被災地に大分から軽のバコバンで移動し、常に自炊と車中泊です。山口県で行方不明になった二歳の男の子を一人で捜し当てたことで、一躍有名になりました。今回の能登半島地震にも向かわれましたが、あれこれと制約も多く、残念ながら断念されたそうです。八十五歳のゴミを集めておられるとか。彼は絶対守らなければならぬ決まり事があります。それは、お礼など一切何も受け取らないということなんです。水一杯、食事、入浴、お金などもつてのほかに私などは、水一杯くらいかと思ってしまいますが、彼曰く、「対価はいただかない。頂くのは、こころ。ボランティア先では何も求めない。人を頼ったり物を求めたりしてはいけない。」「かけた情けは水に流せ、受けた恩は石に刻め」まさに一隅を照らす生け方です。

礼拝の話で、マザーテレサの逸話は私の定番の一つです。ある夜、一人の男性が訪ねてきて「八人の子持のヒンズー教徒の家族が、最近何も食べていません。食べるものがないのです。」と伝えるにきました。そこでマザーは、その家族の一食に足りるほどの米を持っていききました。目だけが飛び出し、瘦せかけた子どもたち。母親は笑顔で米を受け取り、それを半分に分けて出て行きました。しばらくして戻ってきたので、どこに行ってきたか尋ねました。母親は「彼らもお腹を空かしているのです。」と答えました。「彼ら」とは、これもまた、八人の子どもがいて、僅かの米を分かち合うことを躊躇なくしたことを知っている、僅かの米を分かち合うことを躊躇なくしたのです。どんなに貧しくとも、隣人と分かち合う喜びを選ぶことは何と幸せなことでしょうか。これまた一隅を照らす灯。

園では運動遊びや体操を通して身体機能を高めています。一番自然に取り込めるのは、やはり自由遊びに集中しているときではないでしょうか。起伏のある坂道や土の上り下り、雲梯渡りやスクーター漕ぎなど、指示もなく友だちと夢中になって取り組んでいる遊びの中こそ健康やかな体は作られていくと思います。寒暖の差を感じるこの頃。突然の発熱も多うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいります。

園長

**みんなで食べるって美味しいね!!**

園では年長児が中心になって4月に田植えを行いました。小さい苗が大きく成長し、夏の終わりに収穫(稲刈り・脱穀)そして、飯ごうやお釜でお米を炊いておにぎり・スープパーティーを行いました。子どもたちはパーティーが大好きです。みんなでスープに入れる野菜を給食室からかりてきて、触ったり匂いを嗅いだり名前の当てっこゲーム等をワイワイ言いながら楽しみました。役割を分担し、米を洗ったり、野菜を切ったり、飯ごうを薪火の上に乗せたりします。火の煙に巻かれる経験も少ない子どもたちは、「くさ~い!」「なんか目から涙が出る~!」「(ご飯の)においがしてきた!」と様々な変化もみんなで見守ります。「見て見て! 飯ごうの蓋から煙が出てきてるよ!」「(ご飯の)においがしてきた!」と様々な変化もみんなで見守ります。蓋を開けてふんわりと炊き上がったご飯を見ると、みんなの顔に嬉しい笑みが広がります。(先生たちは無事に炊き上がった安堵の表情)自分たちで切った野菜で作った スープと白いおにぎりを感謝をもっていただきます。いつもはおかわりしない子も、この日はおかわりをもらったり



してビックリさせるのもあるあるです。

食事作りや手伝いは子どもたちにとって魅力的な活動となり、友だちと一緒に準備したりすることで満足感や達成感を得る経験となりました。運動会でも食に係わるテーマで表現やゲーム等を作っていたこともあり、食べ物に興味・関心を持って行けたのではと感じています。田植えから収穫、おにぎりを作るまでの経験を通して、「みんなで食べて美味しいね!」一緒に食べる仲間がいることに感謝できる経験となりました。

副園長